

令和6年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 21	ブルーカーボンや DACCS 等新技术を活用した 炭素除去技術の検証 (浜松市)
--------	---

1. 解決したい課題の内容

- ・カーボンニュートラル達成に向けては、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入が基本となるが、それでも削減できない分については、クレジットの活用や炭素除去によって相殺することが必要である。
- ・炭素除去としては、植林や森林再生等があるが、国内でのポテンシャルは限られるため、ブルーカーボン（海洋植物が吸収し海底に長期間貯留する二酸化炭素）管理、バイオ炭（バイオマスを炭化し炭素を固定する技術）、BECCS（バイオマスの燃焼により発生した二酸化炭素を回収・貯留する技術）や DACCS（大気中の二酸化炭素を直接回収し貯留する技術）など新技术の実用化が求められる。

2. 実現したい目標について

- ・低コストで信頼性の高い炭素除去の技術を確立し、カーボンニュートラルに貢献する。

3. 必要とする技術について

- ・海草・海藻類での二酸化炭素吸収量を精度良く測定する技術。
- ・BECCS や DACCS 等、二酸化炭素を選択的かつ効率的に除去する技術など炭素除去に寄与する技術。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

- ・一定期間内での海草・海藻類の成長量を測定し、二酸化炭素吸収量を推定する。
- ・排ガス発生場所にて二酸化炭素回収試験機を設置し、最適な回収条件を整理する。

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/kankyuu/env/ondanka_kuiki/index.html